

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学	2025 年度入試の総志願者数（特別選抜を除く）は、2,600 名（前年度比指数 98.4）で、各入試種別の前年度比指数は総合型選抜が 109.1、学校推薦型選抜が 99.0、一般選抜が 95.9、共通テスト利用選抜が 105.1 となりました。 栄養科学科は、学校推薦型選抜が前年度比指数 97.3 でしたが、一般選抜・共通テスト利用選抜は横ばいで、全体でも 99.5 と微減に留まりました。全国的にも生活科学系の人気低迷の傾向が継続している中、全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格者数と就職実績により、毎年、本学科を第一志望とする志願者が多いことが特徴です。 フード・マネジメント学科は昨年度に大きく志願を減らしましたが、総合型選抜は継続して安定した志願（前年度同数の 31 名）を集めています。学校推薦型選抜が前年度比指数 105.6、一般選抜・共通テスト利用選抜が 102.0 でほぼ横ばいとなりました。大手コンビニなど食関連業界を中心に安定した就職実績を達成しており、今後の志願回復に繋がることが期待されます。 教育学部は、学校推薦型選抜はほぼ横ばいでしたが、一般選抜・共通テスト利用選抜が前年度比指数 93.7 と前年度から引き続き大幅減となりました。全国的に志願者の教育系統離れがあるものの、小学校教員採用試験において今春の卒業生は延べ 126 名が現役合格、またグローバル教員養成プログラムを推進しており、出願を後押しする一要因となっています。 流通科学部は、学校推薦型選抜公募制が前年度比指数 116.3 と増加しましたが、入試全体では微増に留まりました。ダブルディグリーなど海外協定校への派遣留学実施や、産学連携プロジェクト、優良企業への安定した就職実績などを通じて、地元を中心とした今後のさらなる認知度向上が期待されます。
----	---

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

短期大学部	2025 年度入試の総志願者数（特別選抜を除く）は、518 名（前年度比指数 111.4）で、食物栄養学科が新規実施した総合型選抜で志願が集まったことと、キャリア開発学科の一般選抜が前年度比指数 148.6 と大幅増だったことが要因です。 食物栄養学科では、前述の総合型選抜実施もあり、全体で前年度比指数 123.2 と大幅増。今後も短期大学部志願者確保の牽引となることが期待されます。 キャリア開発学科は、総合型選抜で過去最多の志願（38 名）を集め、一般選抜志願者増（前年度比 17 名増）もあり、全体で前年度比指数 112.9 となりました。卒業生の就職実績は地元優良企業、特に地銀への複数名就職など好調が続いており、今後のさらなる志願増の追い風となっています。 幼児保育学科は、右肩上がりの志願が続いていた総合型選抜で前年度比指数 86.4 となり、全体では前年度比 1 名減となりました。特に県外において地元の養成校へ流れているものと予測されます。 なお全体としては一般選抜において大学から短期大学部への第二志望制度を設けており、大学受験者のうち当制度を利用した短大への入学者も増加しました。 また、大学への編入学支援を強化しており、今春は 50 名が大学 3 年次に編入学していますが、その多くが中村学園大学への編入学で、大学併設校であることを活用し、進路選択の幅が広がっています。 例年の安定した就職率も加わり、高校現場のみならず、社会からも栄養士や保育士、幼稚園教諭などの免許や資格に強い短大であること、キャリア開発学科の正規雇用での就職支援に対しても一定の評価を受けています。
-------	--

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学院	2025 年度入試の総志願者数は 14 名で、昨年度の 15 名から微減で過去 5 年を見ても横ばいが続いています。 3 つの研究科の中で唯一、博士後期課程を設置する栄養科学研究科では、2019 年度からの過去 7 年間、入学定員を満たしていない状況が続いています。 教育学研究科においては、社会人特別入学選考において毎年一定数の志願がありますが、2019 年度から開設した社会人 1 年生（教育学研究科修士課程）においては開設以降、志願者が出ていない状況です。 流通科学研究科では、志願が 2 名となり、現役大学生、社会人、外国人いずれも安定的な志願の確保が課題となっています。 進学促進および内部進学者の維持・向上に向けた取り組みとして、中村学園大学卒業生を対象にした給付型の奨学金制度を設け、経済的な負担軽減を図っています。 また、各研究科の入試説明会開催においては、学内外への告知強化やオンライン開催するなど、教育・研究内容を広く公開しており、今後の志願者および入学者の安定的な確保に努めています。 なお、2026 年にはフードビジネスプログラムを開設予定。食産業に寄与する人材育成を推進する予定です。
-----	--